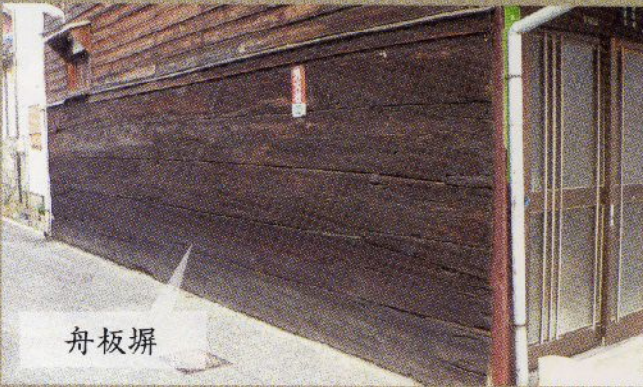




袖うだつ

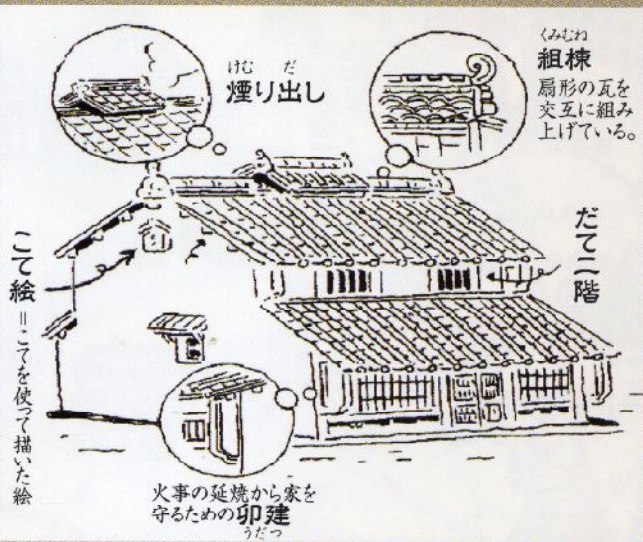


遠見遮断
(ジグザグ路)



舟板塀

町屋(まちや)



鏝絵(こてえ)

民家の土蔵やお寺の経蔵に左官鏝で描かれた漆喰芸術。当地区には11箇所(内1つは公民館内にて展示)で観ることができらる。



<地図マーク>



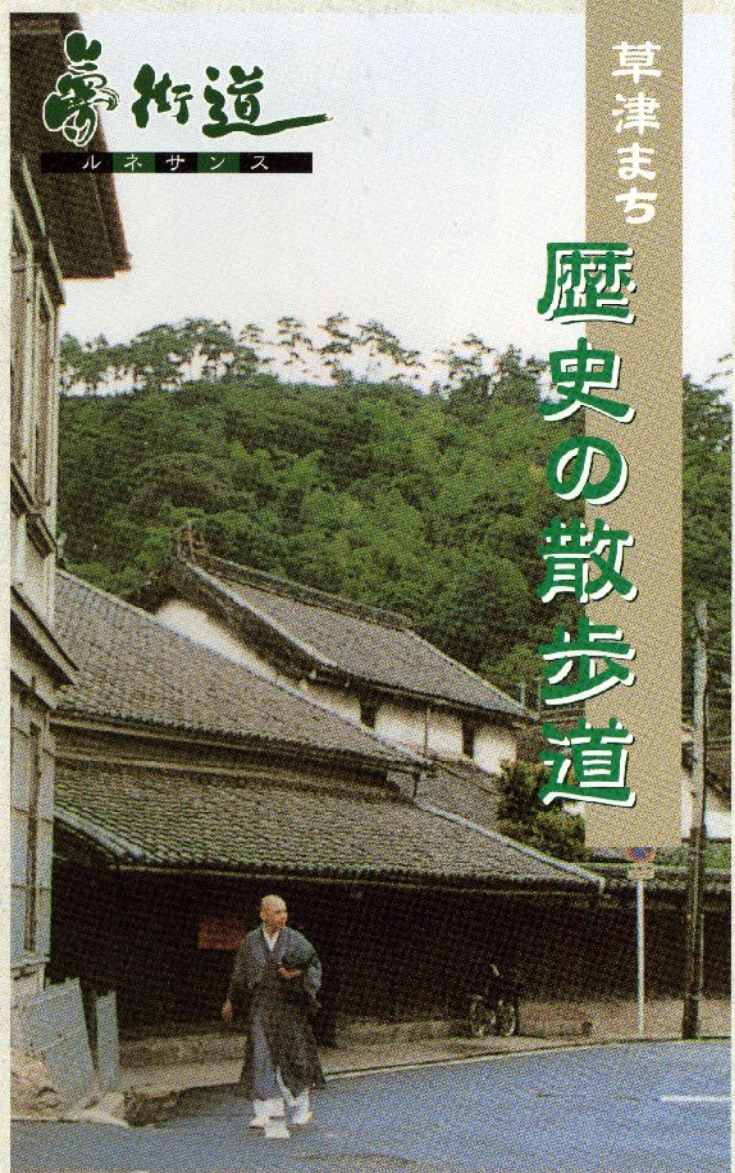
土蔵



経蔵

企画・編集 : 草津まちづくりの会
 発行 : 広島市草津公民館・広島市西区役所
 援 : (社)中国建設弘済会
 問合せ : 広島市草津公民館
 広島市西区草津東二丁目20-7
 TEL 082-271-2576

歴史の散歩道



昔、草津は軍の港いくさにつかわれたので「軍津」と呼ばれ、それが「草津」になったといわれます。

草津は千年以上もの歴史をもつ町で、いわれのある社寺が多数あります。

まちの中を西国街道が通っており、江戸時代には間宿あひしゆくとして栄え、広島藩(一時期は三次藩)の専売品などの積み出しを取り締まる番所や、浜田藩の船屋敷も置かれるなどにぎわっていました。

また、かき養殖も盛んな地域であり、大阪に向けた「かき船」が評判を得て風物詩ともなり、広島のかきを有名にしました。